

## 第一期

### 第一章 特健俟斤の時代

唐代の記録によれば、回鶻即ち Uiyur といふ部族は、唐初に於て娑陵水 (Selenga) の邊に住したるものにして、舊唐書廻紇傳には「在薛延陀北境、居娑陵水側、去長安六千九百里」とし、新唐書回鶻傳も「居薛延陀北娑陵水上、距京師七千里」と記せり、唐書回鶻傳に始めて此の部族につきて記す所を見るに

大業中處羅可汗、攻脅鐵勒部、哀責其財、既又恐其怨、則集渠豪數百、悉阬之、韋紇乃并僕骨・同羅・拔野古叛去、自爲俟斤、稱回紇、回紇姓藥羅葛氏、居薛延陀北娑陵水上、距京師七千里、

と記せり、ここに處羅可汗と記さるるものは、即ち西突厥の泥擲處羅可汗にして、隋書西突厥傳に「大業初、處羅可汗撫御無道、其國多叛、與鐵勒屢相攻、大爲鐵勒所敗」と記し、又其の鐵勒傳に「大業元年、突厥處羅可汗擊鐵勒諸部、厚稅斂其物、又猜忌薛延陀等恐爲變、遂集其魁帥數百人、盡誅之、由是一時反叛、叛處羅」と見え、唐書薛延陀傳にも「西突厥處羅可汗之殺鐵勒諸酋也、其下往往相率叛去、推契苾哥楞、爲易勿眞莫賀可汗、據貪汗山、奉薛延陀乙失鉢爲野啞可汗、保燕末山、而突厥射匱可汗復疆、二部黜可汗號、往臣之、回紇・拔野古・阿跌・同羅・僕骨・白霽在鬱督軍山者、東附始畢可汗、乙失鉢〔所部〕在金山者、西役葉護可汗」と記せり、此等の記載によれば大業の初めに當りては、韋紇即ち唐に回紇と稱するものは東突厥の配下には在らずして、却りて西突厥に隸屬し、